

下水道の水

立区板橋
北前野小学校

4年1組

江川七菜香

よごれた水を
キレイにする
キレイにする

昔

下水道が
ないころ

昔は、よごれた水をそのまま川へ流していました。だから、川にビンや、生ゴミ、アワなどがたくさんあって、魚が泳げなくて人も遊べないくらい川がきたないじゃうたいでした。

今

下水道ができた

今は、トイレや台所、お風呂で使った水は、下水道で下水処理に集めてちゃんとキレイにしてから川に流しています。では、その下水処理場のしくみについて説明していきます。

下水処理場

まず、集めた水から大きなゴミや、砂を機械で取りのぞきます。次の主役はなんと...

小さな

びせいぶつ

微生物

微生物によごれた水をキレイにしています。



クマムシ
大きさ 0.2~1mm

よごれた水をたくさん食べた微生物は、重くなってしずみやすくくなります。それをゆっくり流すことで、キレイな水と汚泥（微生物のかたまり）に分けることができます。これは、

こんなリサイクルも

みなさんがして
いるペットボトル
や、牛乳パックと
同じように
「水・汚泥」
も色々なかたちで
リサイクルされて
います。

たとえば汚泥は、
肥料やセメント、
レンガの材料と
して使われています

たとえば水は...
工場やトイレの
水ふん水のみに
利用されています

下水の流れる速さ

下水の流れる速さは、だいたい人の歩く速さ（時速4km）と同じくらいです。遅すぎると下水道管がつまるげんいんになり速すぎると下水道管をきづつけてしまいます。下水りょうにあわせて、かたむきや大きさを調整しています。

あとがき

私は、この勉強を通して水がすごい大切なことがわかりました。キレイな水がでるのは、あたりまえじゃないかもしれないけど、

